

授業のウェブページ

- 「講義ノート」は学内教員のみだそうです。
- <https://lunar-origin.github.io/GPU-psycho/>



#02 ヒトはそれぞれの 世界を生きている

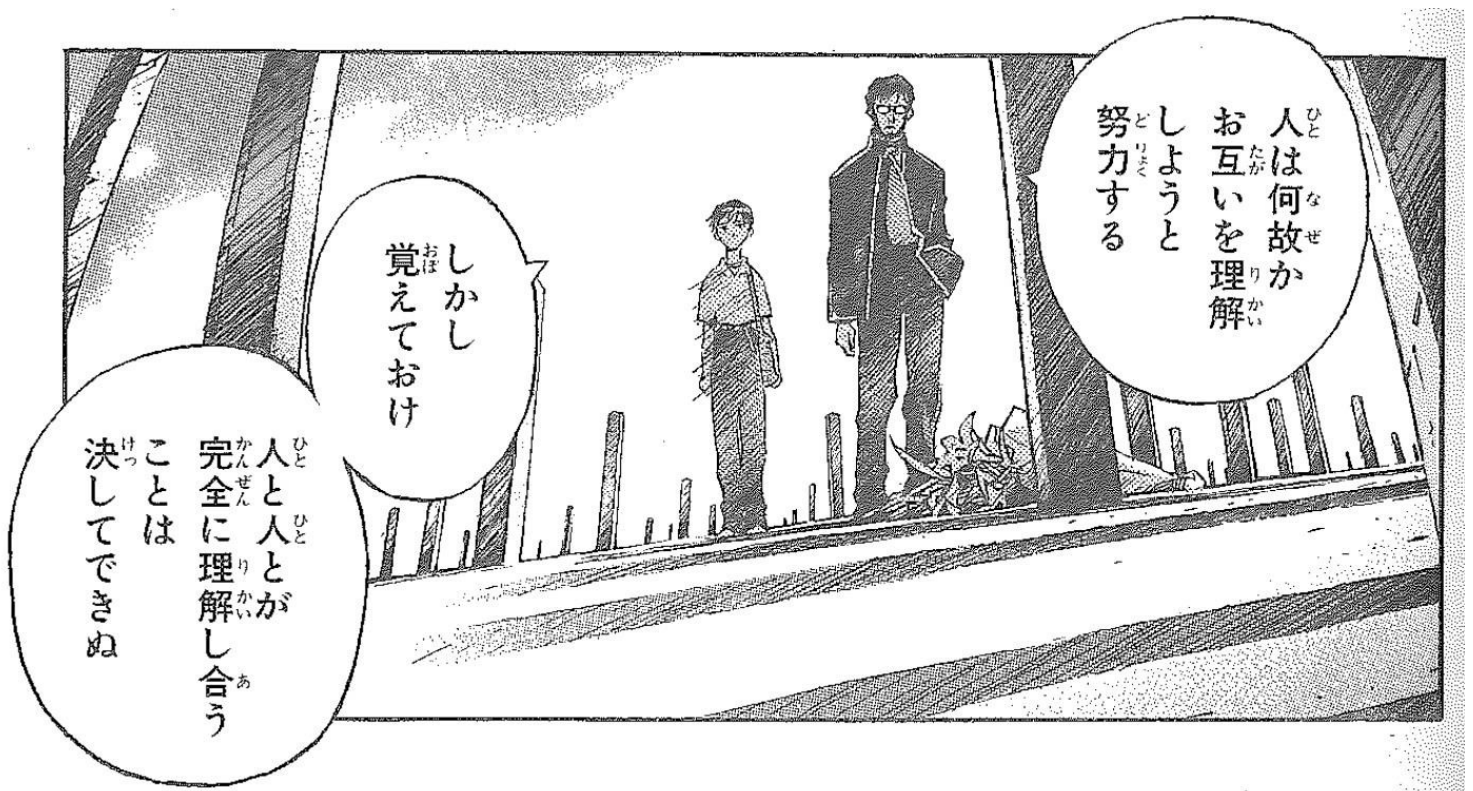
心理学@岐阜薬科大学

メニュー

- 海外の[実験](#)を1つ
- 交通安全の心理学
- ないのにある

“ある”のに見えていない

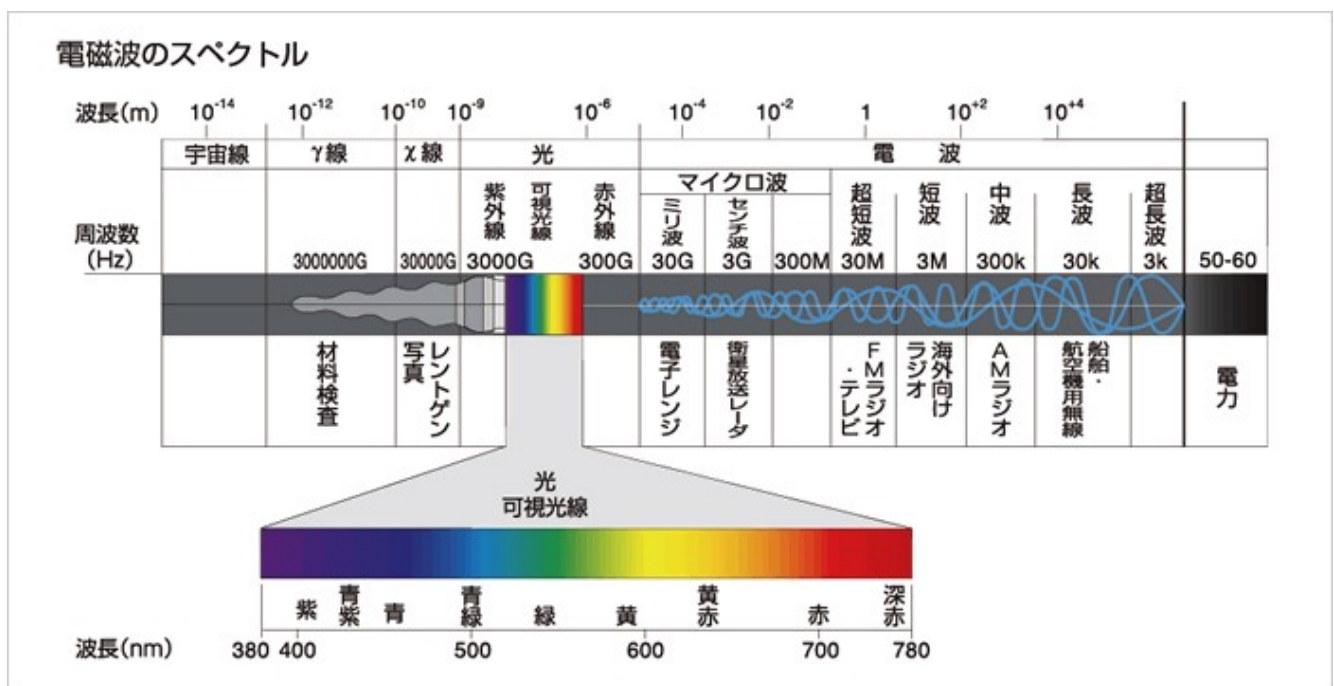
- 課題に集中していないほどアヒルちゃんに気づきやすい
- 非注意による盲目状態 (inattention blindness)
 - 同じものを見ていても、「注意」が向いていなければ見ていないのと同じ
 - 同じ時刻、同じ場所にいながら、「別の世界」を見ている
- 例：友人との旅行の思い出、授業の理解

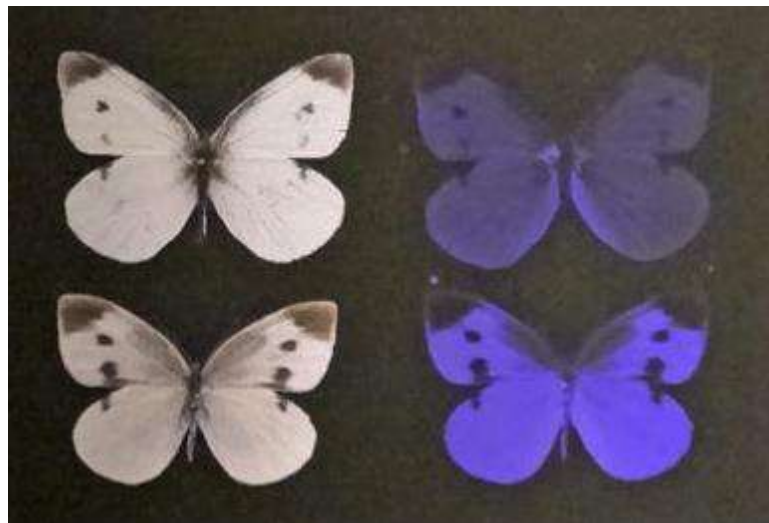


環世界（フォン・ユクスキュル）

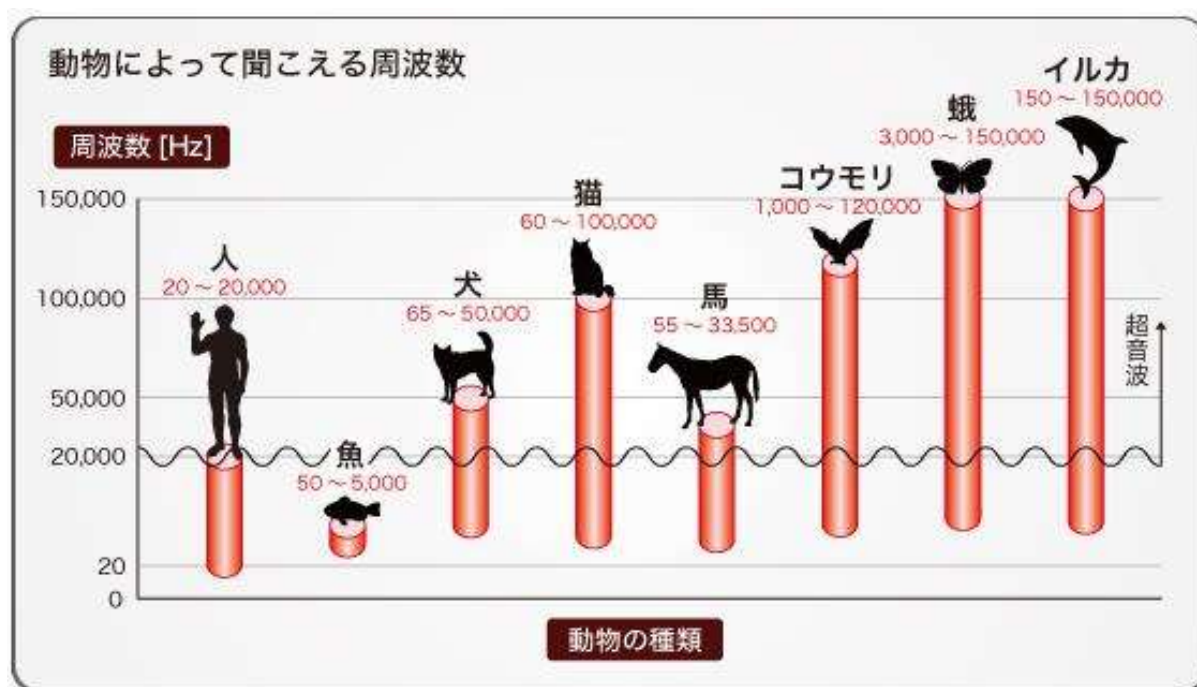
- 私たちが生きている世界は、客観的な環境ではなく、主体に特有なものである
 - 異なる種は「別世界」を生きている
- 例：イヌは視覚ではヒトに劣るが、優れた聴覚と嗅覚がある
- 例：マダニは視覚と聴覚がないが、触覚、特に嗅覚と温度感知が優れている
- 個体でも成長・発達によって認識世界が変わる

可視光





可聴域



交通：他者同士の交流の日常的な場

- 交通ルールは，他者同士の「共通世界」の役割を果たす。
- 交通の安全・危険は，注意の性質やその限界が関わっている。
- 交通には，広範な注意が必要。
 - 自分の注意
 - 「他者の注意」への注意

バイクは事故しやすい

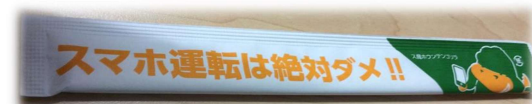
- 平成28年死亡者数（平成29年版交通安全白書，内閣府）
 - 自動車事故：1338名 死亡率0.32%
 - 二輪車事故：684名 死亡率1.48%
 - 無茶な追い越し，前方不注意，バイクを煽る車の増加
- 右折車は対向車よりもバイクを相対的に予期しにくい
 - ドライバは「車の形状」がよく見える心理状態になっている
 - 「アヒルちゃん」のように予想外のものを見落とす傾向

飲酒

- 「ゴリラ」により気づきにくくなる
 - 予期しない対象を察知する能力を低下させた？
 - 課題そのものの遂行能力を低下させた？
- 危険察知，操作に遅れが生じる
 - お酒の強い・弱いの個人差は関係ない
- 失敗を意識する能力の低下
 - 脳内の危険反応が弱まる
 - 車間距離が短くなる



スマホ運転（＝脇見運転）



- 様々な鈍化は飲酒に匹敵
 - ただ，車間距離は飲酒群・正常群よりもとる（あくまでも実験では）
- 合法である“ハンズフリー”は？
 - 手持ちと変わらない注意力の低下を引き起こす
 - マルチタスクの状態となり，それぞれの作業の質が落ちる
 - 運転操作
 - 音声の聞き取り
 - 意味内容の理解
 - 話す

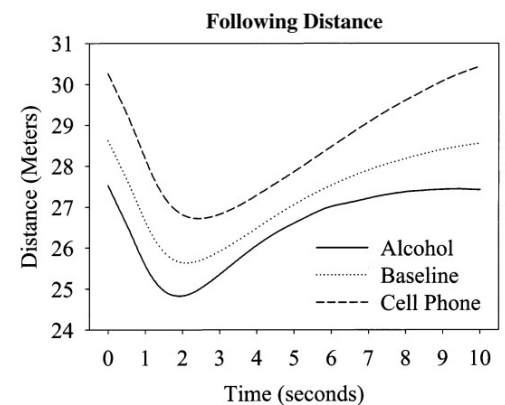


Figure 5. The following distance profile.

同乗者と話すのは？

- 運転能力への影響はほぼゼロ
- 電話よりも聞き取りやすい
- 同乗者の注意力も運転の助けになる
- 同乗者は運転者の状況を理解できる
 - 運転が難しい場所では口出ししない

“ある”のに“ない”を再確認してみよう

- 友達とテキトーに会話してください。
- その際、スマホで会話を録音してください。
- じゃあ、スタート
- 録音した会話を再生してみてください。どう？

“ない”のに“ある”を体験してみよう



今日のまとめ

- 私たちは、主観的な世界でしか生きられない。
 - 碇ゲンドウは正しい。。。
- 私たちは、気づき屋でもあり、見落とし屋でもある。
 - 注意は諸刃の剣
- 注意の観点からすれば、飲酒運転とスマホ運転（ながらスマホ）は自殺行為に等しい。